



発行者 神奈川県土地家屋調査士会川崎支部 支部長 渡部 清一



着任のあいさつ

横浜地方法務局
川崎支局長

杉原 正之

神奈川県土地家屋調査士会川崎支部会員の皆様には、日頃から法務行政の適正・円滑な業務の運営に絶大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年4月1日付けで、東京法務局人権擁護部から川崎支局長に転任してまいりました杉原正之と申します。横浜局の勤務は初めてですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

簡単に自己紹介をしますと、生まれは神奈川県川崎市で、生まれてすぐ郷里の静岡県静岡市(旧清水市)に移り、高校まで静岡で育ちました。その後上京して東京法務局に採用され、30歳まで東京で勤務した後、福島、仙台、前橋、秋田、青森の各局で勤務し、昨年25年ぶりに東京に戻ってきました。この度は、もちろん記憶はないですが出生地の川崎で勤務することとなり、何かの縁を感じます。登記経験は、これまで仙台本局で統括登記官を、秋田局・青森局で首席登記官を務めてまいりました。

ところで、未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から5年が経過しました。私は震災時、秋田局に勤務しておりましたが、東北各局から被災3局に物的・人的支援を行ってまいりました。現在の被災3局の状況ですが、岩手・宮城の両県では、沿岸部津波浸水地域の高台移転、土地の取得、建物の建築など徐々に整備が進み、これに伴う登記事件の増加、また、法務局が所掌する震災復興型登記所備付新規地図作成作業も計画・実施されてきているところです。一方、福島県の沿岸部は、東京電力福島第一原発事故の影響により全く手付かずの地域も残っており、復興までまだまだ長い道のりが予想されるところです。これからも、復興のステージの進展に応じて必要とされる各種施策を全国の法務局職員が一丸となって進めていかななくてはならないと考えております。

また、本年4月14日には熊本地震が発生し、その後の本震や余震で、震源地近くの地区では甚大な被害が生じ、現在も避難生活を余儀なくされている

方々が多数おられます。被災者の生活再建と復興に向けた取組はまだ緒に就いたばかりで、今後とも支援を継続していかねばなりません。

次に、川崎支局管内の登記事件の推移についてですが、景気回復が叫ばれている中であって、大型マンションの建設等が続き、これに伴い登記事件も増加しており、今後も高水準の出件状況が続くことが予想されます。

こうした状況下であって、表示に関する登記は、権利の主体となる不動産を現地で特定する根幹をなすものとして、的確に真実を記録し公示することが求められており、私たちは利用者の要請に応えながら、これを適切に処理していかねばなりません。

横浜地方法務局では、平成28年度も「信頼され進展する法務局」を目指して、適正迅速処理、重要施策推進等の取組を進めていくこととしており、川崎支局も時代の要請に応えるべく適切に事務処理を行ってまいりたいと考えております。

そのためには、皆様方の引き続きの御理解と御協力が不可欠であり、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、神奈川県土地家屋調査士会川崎支部のますますの御発展と、会員の皆様方のますますの御健勝を祈念申しあげ、着任の御挨拶とさせていただきます。



着任のあいさつ

横浜地方法務局
麻生出張所長

村崎 英幸

神奈川県土地家屋調査士会川崎支部会員の皆様には、平素から登記行政の円滑な運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、本年4月1日付けをもちまして麻生出張所に配置換となりました村崎でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、土地家屋調査士制度は、不動産の表示に関する登記の円滑な実施に資するものであり、もって、不動産に係る国民の権利の明確化に寄与することを目的として、長い歴史と伝統を有するものであります。

そして不動産に係る経済取引において、欠くことのできない重要な制度として、国民の社会経済活動の中に深く定着しておりますことは、関係する会員の皆様方の不断の御努力の賜物であることはいまでもありません。

今後とも、土地家屋調査士制度に寄せられる国民の期待は、一層高まり、その役割は、ますます重きを増すものと考えられますので、会員の皆様方におかれましては、引き続き、業務に精励され、国民の期待と要望に応えられますようお願い申し上げます。

ところで、私ども法務局が担っている登記事務につきましては、より高いレベルのサービスの提供が求められており、これを実現するための施策の一つとして、登記のオンラインを実施しているところであります。このオンライン申請については、平成23年2月14日から、新しいオンライン申請システムである「登記・供託オンライン申請システム」の運用が開始され、利用率も伸びているところですが、国のオンライン手続きについては、2021年度(平成33年度)までに、利用率を70%以上に向上させることとしております。

川崎支部の皆様には、日頃からオンライン申請の利用促進や無料登記相談等につきまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに、感謝申し上げますとともに、今後も引き続き御支援をいただきますようお願い申し上げます。

結びに当たり、神奈川県土地家屋調査士会川崎支部のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申しあげ、着任の挨拶とさせていただきます。



第61回 川崎支部総会開催

日 時	平成 28 年 5 月 17 日 (火)
	午後 4 時 30 分 ~ 午後 6 時 50 分
場 所	ホテル K S P
	現在会員数 98 名
	出席会員数 48 名
	委任状提出者 38 名
	欠席会員数 12 名

以下式次第により総会は運営された。

1. 開会の辞 (深瀬光正副支部長)
2. 支部長挨拶

3. 来賓紹介

横浜地方法務局麻生出張所 村崎英幸 所長
神奈川県土地家屋調査士会 石井幸世 副会長

4. 来賓祝辞



5. 新入会員紹介

6. 正副議長選出

(議長 門田英之会員 副議長 小曾根浩之会員)

7. 記録者・議事録署名人選出

(記録者 福田浩会員・佐藤直樹会員)
(署名人 高橋肇会員・黒川貴行会員)



8. 議 事

- 第1号議案 平成27年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成27年度決算報告承認の件
- 第3号議案 監査報告
- 第4号議案 平成28年度事業計画(案)承認の件
- 第5号議案 平成28年度予算(案)承認の件

9. 本会並びに同好会報告

10. 閉会の辞 (小西行長副支部長)

閉会后懇親会が盛大に開催されました。

表彰

第 77 回 定時総会開催

日時 平成 28 年 5 月 28 日 (月)
午後 1 時 30 分～午後 5 時
場所 ロイヤルホールヨコハマ

神奈川県土地家屋調査士会第 77 回定時総会の席上永年の業務の功績により、土地家屋調査士表彰規定に基づき表彰状が授与されました。

東京法務局長表彰
登録番号第 2276 号 四元忠幸 会員

神奈川県土地家屋調査士会会長表彰
登録番号第 2417 号 上田浩司 会員



支部役員会 報告

第 1 回 支部役員会

日時 平成 28 年 4 月 21 日 (木)
午後 6 時 30 分～午後 9 時
場所 川崎市総合自治会館
出席者 19 名

議題

- 1. 支部総会の件
- 2. 平成 28 年度事業計画及び予算案
- 3. その他

第 2 回 支部役員会

日時 平成 28 年 6 月 23 日 (木)
午後 6 時 30 分～午後 9 時
場所 川崎市総合自治会館
出席者 21 名

議題

- 1. 支部研修会の件
- 2. 支部総会懸案事項の件
- 3. その他

第 3 回 支部役員会

日時 平成 28 年 9 月 6 日 (火)
午後 6 時 30 分～午後 9 時

場所 川崎市総合自治会館
出席者 19 名
議題
1. 支部研修会反省の件
2. 支部同好会旅行の件
3. その他



七士業交流会

鈴木義範

平成 28 年 6 月 30 日 (木) 18:30～、向河原の宝珍楼にて、春の七士業交流会が開催されました。今回は幹事会ですので、我が支部の村田茂昭会員を講師に迎え、「公図のお話し」と題し、公図になじみのない他士業の先生方にもわかりやすくお話いただきました。公図の生い立ちから縄伸びなど、短い時間でしたが非常に内容の濃い講演だったと思います。その後乾杯し、皆さんが和んだところで鈴木宏治副支部長の司会のもと、「1 分間スピーチ」がはじまりました。くじ引きで運よく当たった方は、1 分間で自己紹介をします。名司会にうまく乗せられ、非常に盛り上がりました。最後に、幹事会としてご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。



支部研修会

山田 武宏

出席者数：当支部会員 72 名
補助者 13 名
他支部会員 13 名
合計 98 名

平成 28 年 8 月 30 日、台風 10 号の上陸が懸念される中、平成 28 年度支部研修会がエポック中原にて実施されました。心配していた風雨も殆どなく、実施に影響はありませんでした。第一部として、とてもタイムリーな「新調査報告書の使用事例」、第二部として、業務に密着した「境界立会業務につき法律上、注意すべき点」という魅力的な研修タイトルに誘われてか、近年では珍しく多くの方々にご参加いただきましたが、肝っ玉の小さい私は、たかだか司会なのに、この大人数を前に心臓はバクバク、手汗脇汗も MAX でした。

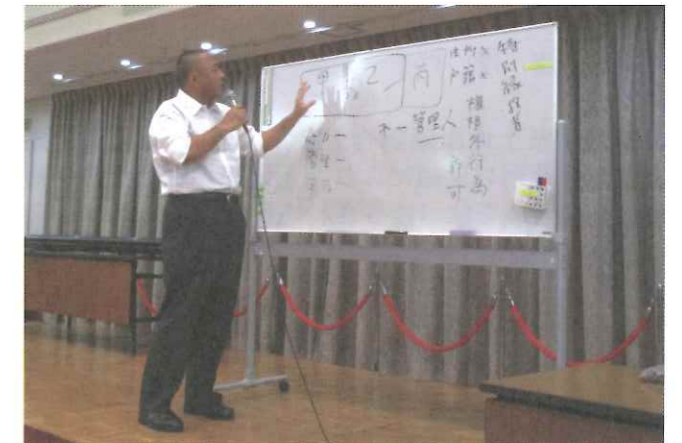


そんなこんなで始まった支部研修会ですが、第一部でお話し頂きました林芳弘会員、長瀬隼人会員、工藤剛会員、さすが百戦錬磨のお三方、計算し尽した様にスラスラと、見惚れてしまう程に堂々と研修を進めておられました。その結果、講義の内容がスイスイと頭の中へ入ってきます。機会があれば、その極意をご伝授頂きたいと思っております。

第二部では神奈川会顧問弁護士の柳川猛昌先生に御講義を頂きました。先日の公開講座で耳にしていた不在者財産管理人等のお話を、私達土地家屋調査士が、どのように理解し、どのように日々の業務に関連付けていくのか等、脳ミソの小さな私にも、分かるようにご教授くださいました。頭の中にスイスイと入ってくるどころか、先生のお話にグイグイと引き込まれていきます。正に神業「Yanagawa Magic」です。以前から途轍もなく素晴らしい先生であるこ

とは分かっておりましたが、講義終了後から私の中では「God Yanagawa」と認識されています。

今回の支部研修に携わらせて頂いたことで「人を集めるには企画力」、「研修の良し悪しは講師の話術」であるということに改めて気付くことが出来ました。従いまして私には、人前に立ってお話する様な役割は不向きということをご認識頂きたいと思えます。



同好会報告

つり同好会報告



野島公園潮干狩り & バーベキュー

露木 潤

4 月 24 日 (日) 横浜市金沢区野島公園にて潮干狩り & バーベキューを行いました。昨年の海の公園 (大人 22 名・子供 11 名)、一昨年の野島公園 (大人 16 名・子供 5 名) に引き続き 3 回目の潮干狩り & バーベキューとなりました。当日の朝起きると結構な雨にかなりの風、おまけに寒さでこれは中止でしょと思いつつながら小西さんに連絡すると「おこないます！」と予想外のお返事で慌てて野島公園に向かいました。こんな天気にも係わらず支部会員 7 名、他支部会員 2 名、ご家族・知人 11 名 (内子供 6 名) の計 20 名にご参加いただきました。潮干狩りは前回 GW 明けで小指の爪サイズのアサリばかりでしたが、今年は GW 前のためか普通に売ってるサイズの立派なアサリが多く、特別な方法は特に必要なく人が掘ってない干潟を掘ればたいい居ますから誰でも簡単に採れました。マテ貝はインターネット等で情報が多数公開されてる為か、塩の入れ物を片手に狙ってる人が沢山居て簡単には採れません。しかし、穴に塩を盛ってマテ貝が飛び出す瞬間は必見で中毒性抜群です。(自分は 2 時間やって 2 本でした...) バーベキューは普段なかなかお目に掛かれない高級ウインナーや他支部会員様特製の焼きそば等が登場し、皆さん満足そうでした。潮干狩り & バーベキューは整備されたバーベキュー場と安全な干潟で、どなたでも参加可能な気軽で楽しい企画です。皆様、来年のご参加お待ちしております!!

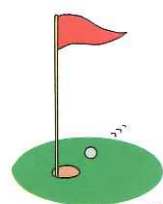


る優勝者は鈴木義範会員、準優勝は丸川会員、3位は宇賀神会員となりました。

2位3位4位は同ネットとなり若さ故入賞を逃し4位となられた村上会員は見事ベスグロを獲得された大会となりました。

順位	名 前	HC	西	南	グロス	NET
優勝	鈴木義範	36	56	60	116	80
2	丸川勝美	12	42	52	94	82
3	宇賀神清人	27	60	49	109	82
4	村上義則	0	42	40	82	82
5	松澤博和	19	56	46	102	83
6	引田 繁	10	47	47	94	84
7	有野拓美	8	48	45	93	85
8	小峰利平	20	49	58	107	87
9	太田康一	15	54	48	102	87
10	田代喜美子	21	54	55	109	88
11	四元忠幸	5	45	49	94	89
12	箕輪浩一	14	57	47	104	90
13	石井 学	10	57	44	101	91
14	三浦正樹	14	59	48	107	93
15	太田雅人	32	70	55	125	93
16	大塚 康	28	62	62	124	96
BB	朝比奈資明	25	68	54	122	97
BM	中村拓司	11	58	51	109	98

☆ベスグロ 村上義則
 ☆ニアピン 田代喜美子・引田 繁
 丸川勝美・箕輪浩一
 ☆ドラコン 中村拓司・有野拓美



ゴルフ同好会報告

四元忠幸

第 83 回川調春秋会ゴルフコンペ

日 時 平成 28 年 4 月 6 日 (水)
 8 時 19 分 西コーススタート
 天 候 晴
 場 所 大厚木カントリークラブ
 参 加 者 18 名

第 83 回春秋会ゴルフコンペは春爛漫、桜満開のなか大厚木カントリークラブ本コースで開催されました。広大でフラットな丘陵の西コース、変化に富んだ丘陵のテクニクを要する南コース、皆さん、花見を満喫しながらのプレー?となったようです。プレー中、カートのナビで他の参加プレイヤーのスコアが確認できたため誰々優勝か、BBか、馬はどうだとの話題で騒然としておりました。

そして第 83 回川調春秋会ゴルフコンペの栄えあ



支部会員
のうごき

会員消息

○ 事務所所在地変更 平成 28 年 4 月 8 日
 浅野 晴夫 会員 (2 班)
 麻生区栗木 2 1 3 番地 5

○ 入 会 平成 28 年 4 月 1 2 日
 石井 隆人 会員 (1 班)
 多摩区菅一丁目 1 番 1 号
 不老門ビル 3 F
 電 話 9 4 5 - 3 4 4 8
 F A X 9 4 5 - 5 8 8 3



土地家屋調査士試験に合格したのは随分と古く昭和 51 年です。その後不動産鑑定士としての業務 (鑑定、東京地裁の競売評価、コンサルタント) を中心としてきました。競売評価人の定年 (本年 3 月) を契機に、「不動産は先ず、調査・測量ありき」という原点たる土地家屋調査士業務に回帰できることを、歓迎しております。皆様の御指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

○ 事務所所在地変更 平成 28 年 5 月 1 2 日
 石川 正勝 会員 (8 班)
 石川 賢明 会員 (8 班)
 黒川 貴行 会員 (8 班)
 川崎区台町 8 番 1 7 号

○ 事務所所在地変更 平成 28 年 6 月 6 日
 東野 圭二 会員 (6 班)
 高津区二子六丁目 1 4 番 1 0 号
 株式会社カワコン内

○ 退 会 平成 28 年 8 月 2 4 日
 男全 憲志さん

○ 入 会 平成 28 年 9 月 2 日
 中原 一成 会員 (5 班)
 麻生区上麻生
 七丁目 3 5 番 5 号
 電 話 2 9 9 - 6 1 2 6
 F A X 2 9 9 - 6 1 2 6



平成 28 年 9 月に登録し、入会しました中原一成と申します。これまで私は、ハウスメーカーの施工監理や不動産会社での営業など、建設・不動産業界を中心に働いてまいりました。そして、これらの仕事を通じて土地家屋調査士の存在を知り、目指すようになりました。現在も修行先の調査士事務所にて実務経験をさせていただいておりますが、ご指導の程よろしくお願いいたします。

◆ 訃 報
 高橋 肇会員のご母堂様が平成 27 年 4 月 13 日にご逝去されました。誠に哀悼にたえません。心からご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

今年の 9 月は、日照時間が数時間と記録的な少なさでした。我々、土地家屋調査士は雨だと現場作業ができず天候に左右される仕事ですので、皆さん業務の遅延を心配されたのではないのでしょうか。そんな中、今回の支部研修会には補助者・他支部からの参加も含め 98 名もの多数のご参加がありました。テーマが調査報告書の改定に伴うものと弁護士の柳川先生の講演という好材料だったとはいえ、川崎支部の会員の皆様の常に知識の向上に努めている姿勢の表れだと思います。そんな皆様に支部の活動の状況をお知らせする「しぶだより」の発行に微力ながら参加できて光栄です。

(田代喜美子)

